

令和7年度第1回浦安市交通安全対策推進会議 議事録

- 1 開催日時 令和7年12月16日（火）10：00～10：40
- 2 開催場所 市役所 4階 S2会議室
- 3 出席者 (委員)
増田会長、亀井副会長、黒須委員、谷口委員、下平委員、澤田委員
(事務局)
新田課長、岩寄主幹、真島係長、鎌田、石井

4 議題

- (1) 交通安全対策推進会議設置要綱の改正について
- (2) 交通反則通告制度（青切符）の導入に向けた市の取り組み

5 議事の概要

- (1) 交通安全対策推進会議設置要綱の改正について
交通安全対策推進会議設置要綱の改正について資料に基づき説明をした。
- (2) 交通反則通告制度（青切符）の導入に向けた市の取り組み
交通反則通告制度（青切符）の導入に向けた市の取り組みについて資料に基づき説明し、その後、委員より意見をいただいた。

6 会議経過

- (1) 交通安全対策推進会議設置要綱の改正について
事務局より資料に基づき交通安全対策推進会議設置要綱の改正について説明
- (2) 交通反則通告制度（青切符）の導入に向けた市の取り組み
事務局より資料に基づき自転車通行環境の整備について説明
委員：自治会の掲示板や回覧板で周知できるためチラシがあればいただきたい。
また、希望のあった自治会で、講習会を実施していただきたい。
事務局：検討します。
委員：現時点では浦安市では歩道を自転車で走っても取締りはしていないと思うが、4月からは取締りを厳しくされるということは、警察は大変ですよね。
委員：4月から制度が変わり、取締りが厳しくなるわけではなく、警察部内の処理の仕方が変わるもので。従来は赤切符という形で検察庁に書類送検していたが、4月より青切符という形で書類送検をせずに反則金を納付し終わるようになります。
現在の浦安警察署における自転車の取締り件数は11月末で300件程、県内の取締り件数が2700件程なので、県内でも多い方であります。地区により差があり、人口の少ない市町村では取締り件数が0件の場所もあります。

自転車の歩道通行については、道路状況等を鑑み、基本的には指導、警告を行っていく予定です。また、浦安市と協力し車道に矢羽根を引くことや、歩道の規制の関係などソフト面ハード面の改良を行ってまいります。

委員：現在浦安警察署での、取締り件数が300件という話だったが、そうなると1件残らず赤切符で重たい罰則になるという認識でよろしいでしょうか。

委員：罰則が付くかどうかは検察庁の判断となるため、そこは分かりません。警察としては書類送検を300件程行っています。

委員：この歩道は自転車が走ってよいなど、明確な規定は定まっていますか。

委員：道路標識で決まっています。自転車は歩道を走っていいという標識がついている箇所が、歩道通行できる箇所になります。

その標識がついていない箇所が、歩道通行できない箇所になります。

委員：通勤でやなぎ通りを通りますが、歩道が広いため、自転車がスピードを出して走っているため、何とかしてほしいと思います。

委員：感覚での話になってしまいますが、浦安市では、自転車のマナーが悪い人が多いなという印象をうけます。市役所と協力して、指導、取締りを行ってまいります。

事務局：浦安市でも浦安警察署と街頭啓発活動を行っていますが、マナー違反が多い印象をうけます。また、車道の左側を走るなど細かい自転車のルールを知らない人が多くいることが問題だと考えています。4月から青切符制度が始まるということで、市民の意識も高まると考えられるため、これを機にどのように啓発をし、市民に自転車ルールの周知を図っていくか今考えているところです。その一つに先ほど出ました、自治会での講習会等もあると思いますし、それだけではなく、何かご意見があれば頂きたいです。

委員：子供や高齢者は教室や講習会等で啓発はできると思うが、20代から50代の人たちにアピールすることが課題になると思います。

事務局：まさしくその通りです。市では、小中学生に交通安全教室を実施していますが、やはり20代から50代の働いている世代の人については交通安全教室を実施することが難しいです。

そこが今後の課題になってくると思います。

事務局：鐵鋼団地では自転車で通勤する方は多いのでしょうか。

委員：そうですね、浦安鐵鋼団地では浦安警察署の職員に講話を行っていただき、それを各所に持ち帰るという運用を行っています。

ただ、実際に浦安鐵鋼団地内の自転車通行で、ヘルメットを被っている人はほとんどいない気がするため、そこはもう少し徹底していかなければいけないと思います。

また、学生のヘルメットの着用率が低いと思います。特に中学生よりも、スピードを出すことのできる高校生の着用率が低いと思います。ヘルメットを被ると被らないので仮に事故に起きた時の怪我の具合が変わってくると思うので、そこを課題にしていただ

ければと思います。

事務局：承知しました。ありがとうございます。